

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
公衆衛生学特論		2 単位 30 時間(15 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 前期開講	☐ 可・不可
科目責任者	古川 照美			
担 当 者	古川 照美、大久保 一郎（非常勤・横浜市健康福祉局衛生研究所）、田邊 直仁（非常勤・新潟県立大学）、西沢 義子（非常勤・弘前医療福祉大学）、岸 光男（非常勤・岩手医科大学）、小池 竜司（非常勤・東京科学大学）			
1. 科目のねらい・目標				
公衆衛生学全般について基礎となる総合的事項を習得し、さらに特定の個別分野における理解を深める。 個別的には、総合的事項として、保健統計、予防医学、医療経済学を修得する。また特定分野として、循環器疾患等の予防・管理、学校保健、母子保健、歯科保健、並びに薬事にかかわる公衆衛生学を理解する。				
2. 授業計画・内容				
【公衆衛生に関わる総合的事項】（大久保一郎）：以下のテーマについて解説し、公衆衛生学の基盤となる考え方について理解を深める。 1) 日本の保健医療制度の特徴 2) 最近の保健医療行政の課題 3) がん検診の評価 4) QOLの測定法 5) 医療経済学の基礎的な考え方 6) 公衆衛生と医療経済 【公衆衛生における個別分野】 7-8) NCDs の予防と管理（田邊 直仁）：地域の公衆衛生活動の中でも、NCDs（特に循環器疾患）の予防や管理について解説し、予防戦略の重要事項についての理解を深める。 9) 母子保健（古川照美）：地域における母子保健活動、子ども・子育て支援施策等について解説し、公衆衛生上の課題やその対策についての理解を深める。 10- 11) 学校保健（西沢義子）：学校保健活動の実際と健康課題について解説し、学齢期における公衆衛生上の重要事項についての理解を深める。 12-13) 歯科・口腔保健（岸 光男）：歯科疾患の特徴について解説し、公衆衛生活動による歯科疾患予防に関する理解を深める。また、口腔と全身の客観的並びに主観的健康の関連を解説し、口腔保健の意義に対する理解を深める。 14-15) 薬事（小池竜司）：医薬品、医療機器等の新規医療技術が開発され実用化されるプロセスや背景事情について解説し、関連する法令や実務とその問題点に関する理解を深める。				
3. 教科書、参考書				
・厚生労働統計協会：国民衛生の動向。（必携） ・柳川洋他編；地域保健活動のための疫学、第2版、日本公衆衛生協会、2006。 ISBN 4-260-00171-X ・厚生労働省：厚生労働白書 ・厚生労働統計協会；福祉と年金の動向 ・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 HP https://www.pmda.go.jp/ 他適宜お知らせします。				
4. 成績評価方法				
公衆衛生に関わる総合的事項について 50%、公衆衛生における個別分野について 50%の課題レポートなどにより総合的に評価します。				
5. 受講要件				
特にありません。				
6. 社会人学生に対する配慮				
土・日曜日主体の開講とし、オンラインでの出席可能です。				
7. その他				
オンライン受講を希望される方、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなすかの判断は事前にご相談ください。				